

今週の活動から



3月29日から4月6日まで飯山桜まつりが開催されています。桜の広場から左に少し登ると厚木市戦没者慰霊堂があります。1974（昭和49）年11月に建立しました。堂内には市の戦没者1457人の名が刻まれているそうです。

桜まつりの名物・イノシシコロケをガブリ！
またイノシシ汁も賞味。癖がなく柔らかい食感でした。今年、市政60周年記念事業の一環として行われ、ベニヤエシダレザクラ（紅八重枝垂桜）を植樹しました。

（上：栗山香代子議員、下：釘丸久子議員）



17年ぶり消費税増税 市民が怒りの大宣伝

くらしの視点がまるでない！ 経済はどん底に…



4月1日、消費税が5%から8%に引き上げられました。この日は全国で、消費税増税に抗議し、撤回させましよう、署名宣伝活動が行なわれました。厚木市ではイオン前で午前11時から午後1時まで8団体20人が参加。釘丸久子議員、栗山香代子議員が参加しました。

参加者はマイクを握り、商売の話、年金が減ったことなど、それぞれの生活実態から消費税が家計にどれだけ大きな負担となるかを訴えました。前日の3月31日には、定期券の購入やガソリンスタンドなどで長蛇の列が。また、トイレットペーパーなどの生活用品の買いだめで店先から商品がなくなるなどの混乱が起きました。

厚木市財政にも影響が
厚木市議会2月定例会でも消費税増税の影響について理事者から答弁がありました。厚木市が物品の購入や工事などで消費税アップにより負担が増える等々…。

国は消費税増税の影響をこまかそうと低所得者や子育て世帯への臨時給付金を支給しますが、増税分の方がはるかに



話題あれこれ

相川地域で放射線測定

原発で不安を感じている市民の皆さんが、公園や保育所、学校のそばなどで、4月1日、空間放射線量の測定を行いました。今回2回目です。測定には、市の放射線量計を使用。栗山香代子議員も回の線量計を持参しました。測定した11か所はすべて基準値以下でしたが、もしも、まだどこかで原発事故があれば、市民生活へも大きな影響が出ます。



「羊が泣かないように毛をむしるのが税の極意」
消費税が導入されたのは1989年（平成元年）4月で税率は3%。97年には5%に引き上げられました。社会保障の財源にすると言われましたが実態は違います。

年金は保険料が上がり、受け取る金額は減っています。また、介護保険制度、後期高齢者医療制度ができるなど改悪が続けてきました。

「羊が泣かないように毛をむしるのが税の極意」といったのは中曽根康弘元首相です。国は来年10月には10%を狙っています。

私たちは「泣かない羊」ではなく「行動し、変えていく国民」にならなければなりません。

党議員団の議会報告会

4月16日（水）13時～
毛利台老人憩の家

4月17日（木）14時～
愛甲宮前公民館